

# 平成28年 第2回北空知広域水道企業団議会定例会会議録

平成28年12月20日企業団議会は北空知広域水道企業団大会議室に召集された。

(開会10時58分)

1. 出席議員 9名

1 番	辻 本	智
2 番	菅 原 明	義
3 番	田 中 昌	幸
4 番	木 根 昭	夫
5 番	渡 邊 敏	昭
6 番	高 田	勲
7 番	土 井	享
8 番	山 本 剛	嗣
9 番	向 井 敏	則

2. 欠席議員 なし

3. 地方自治法第121条の規定により、説明のため会議に出席した者は次のとおり

企 業 長	深 川 市 長	山 下 貴 史
副 企 業 長	沼 田 町 長	金 平 嘉 則
〃	秩 父 別 町 長	神 藪 武
〃	北 竜 町 長	佐 野 豊
〃	妹 背 牛 町 長	寺 崎 一 郎
監 査 委 員		金 山 泰 明
〃		山 田 武 三
事 務 局 長		若 林 祐 治
事 務 局 次 長		伊 賀 俊 哉
技 術 長		笠 井 博 幸
副 主 幹		古 川 和 英

4. 職務のため、会議に出席した議会事務局職員は次のとおり

事 務 局 長	(兼)	伊 賀 俊 哉
書 記		田 中 秀 和

○議長（渡邊敏昭議長） おはようございます。会議前に、先般の第1回臨時議会において監査委員に選任同意されました金山さんよりご挨拶をいただきたいと存じます。そのままの席でよろしくお願ひいたします。

○金山泰明監査委員 おはようございます。先に開かれました臨時会におきまして選任の同意をいただき、10月4日より監査委員の任についております金山泰明でございます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

○議長（渡邊敏昭議長） ありがとうございます。

○議長（渡邊敏昭議長） これより本日をもって招集されました平成28年第2回北空知広域水道企業団議会定例会を開会いたします。ただちに本日の会議を開きます。

○議長（渡邊敏昭議長） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、会議規則第113条の規定により、2番菅原明義君、7番土井享君を指名いたします。

○議長（渡邊敏昭議長） 日程第2 会期の決定を議題といたします。お諮りいたします。今期定例会の会期は本日1日間といたしたいと思ひます。これにご異議ありませんか。  
（ 「異議なし」の声あり ）

○議長（渡邊敏昭議長） ご異議なしと認めます。よって会期は本日1日間と決定いたしました。

○議長（渡邊敏昭議長） 日程第3 諸般報告ですが、議長の諸般報告は別紙文書にてお手元に配布しておきましたのでご了承願ひます。次に企業長より業務報告をいたさせます。

○企業長（山下貴史企業長） （ 山下企業長 発言を求める ）

○議長（渡邊敏昭議長） 企業長。

○企業長（山下貴史企業長） おはようございます。本日ここに平成28年第2回議会定例会の開催にあたり、現在までの業務の経過と対応について申し上げ、議員各位の一層のご理解を賜りたいと存じます。

最初に水道用水供給状況について申し上げます。

今年度これまでの水道用水供給状況は、別途資料で配付させていただいておりますが、供給量は、第1四半期は前年度の同期のものに比べ1日あたり200m<sup>3</sup>、1.8%の減量であり、第2四半期では318m<sup>3</sup>、3.4%の減量となりまして、4月から11月までの7か月間の合計で比較をいたしますと263m<sup>3</sup>、2.9%の減量の実績となっております。

この減少の理由は、管内における給水人口の減少、景気の低迷、節水機器の普及、さらには構成団体の水道事業の有収率の向上などの要因が重なったもので、平成19年頃からその傾向が続いているものがあります。

次に水源の状況について申し上げます。

水源であります沼田ダムは、平成22年にダムの上流における集中的降雨がありましてから、頻繁にゲリラ的豪雨が起こるようになり、そのたびにダム全体が濁るようになってきておりました。

このことにより、浄水薬品の使用量や排出汚泥が増えることとなり、それらの費用が毎年度のように嵩む状況となっておりますが、今年度におきましては昨年度と同様に集中的豪雨がダム上流にはおこることなく、比較的安定した良質な水質の原水を取水することができている状況が続いております。

なお、ダム水位は11月中旬に満水となり、降雪期に入りましてからは水質もさらに安定いたしておりますことから、今後におきましても大きな水質変化はないものと見込んでおりますが、今後も注意深く水源観測、水質検査等を行い、適正な水質管理を続けてまいります。

次に現在行っております施設の耐震診断の進捗状況について申し上げます。

平成30年度までの策定を計画いたしております当企業団施設の耐震化計画の策定資料といたしまして、今年度から建物・構築物であります浄水場池棟及び主要な水管橋の耐震診断を委託業務とし、外部発注して行っているところでありますが、その業務の進捗状況としましては、これまでに資料収集・現地調査・物理調査などを終え、現在ではその調査結果から建物等の補強の要否・補強を要する場合の施工方

法・概算費用の算出等を行っている段階であります。これら建物等の筐体試験におきましては、特に目立った劣化は認められていない旨の報告を受けている状況であります。この後、提出されます判定結果をもとに、耐震計画の具体的な策定につきまして構成市町と十分に協議を行いながら行ってまいりたいと考えているところであります。

以上、業務の概要について申し上げ、業務報告とさせていただきます。

○議長(渡邊敏昭議長) ただいまの業務報告にたいし、質疑を許します。  
質疑ありませんか。

( 「質疑なし」の声あり )

○議長(渡邊敏昭議長) 質疑がないようですので、企業長の業務報告を終わります。

○議長(渡邊敏昭議長) 日程第4 認定第1号「平成27年度 北空知広域水道企業団水道用水供給事業決算の認定について」を議題といたします。  
提案理由の説明を求めます。

○企業長(山下貴史企業長) ( 山下企業長発言を求める )

○議長(渡邊敏昭議長) 企業長。

○企業長(山下貴史企業長) ただいま議題となりました認定第1号「平成27年度北空知広域水道企業団水道用水供給事業決算の認定について」提案理由を申し上げます。

最初に、平成27年度の水道用水供給の実績でございますが、年間328万0,994立方メートルを供給いたしまして、前年度と比較いたしますと、14万9,101立方メートルの減少となったところであります。

次に、経理の状況につきましては、別冊決算書で報告をさせていただいておりますのでここでの説明は省略させていただきますが、収益的収支は黒字となりまして、当年度純利益の3,497万円は未処分利益剰余金へ積立てを行いたいと考えております。

また、資本的収支におきましては6,268万6千円の収入不足となり、この処分につきましては、当年度分消費税資本的収支調整額及び損益勘定留保資金にてこれを補填するものとしたしまして、決算書8ページの剰余金処分計算書案のとおり当年度末の利益剰余金残高を

1億2,038万5千円あまりとして翌年度へ繰越したいと考えております。

これらのことから、当企業団における平成23年度からの財政計画期間の最終年度となりました平成27年度末の留保金は、計画時のものと比べますと、若干ながら予定額を上回る留保金となったということでございます。

なお、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」によります、いわゆる資金不足比率の算定につきましては、当年度においても資金不足はない旨の報告を北海道知事宛てにいたしているところであります。

以上、決算の概要を申し上げまして、提案の理由とさせていただきます。

よろしくご審議の上、認定くださいますようお願い申し上げます。

○議長(渡邊敏昭議長) 説明が終わりましたので質疑に入ります。

質疑ありませんか。

( 「質疑なし」の声あり )

○議長(渡邊敏昭議長) 質疑なしと認め、これより討論に入ります。

討論ありませんか。

( 「討論なし」の声あり )

○議長(渡邊敏昭議長) 討論なしと認め、ただちに本件について採決いたします。

お諮りいたします。

認定第1号は、原案のとおり認定することにご異議ありませんか。

( 「異議なし」の声あり )

○議長(渡邊敏昭議長) ご異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり認定されました。

○議長(渡邊敏昭議長) これにて、本会議に付議された案件の審議は全部終了いたしましたので、平成28年第2回北空知広域水道企業団議会定例会を閉会いたします。

(閉議 1 1時07分)